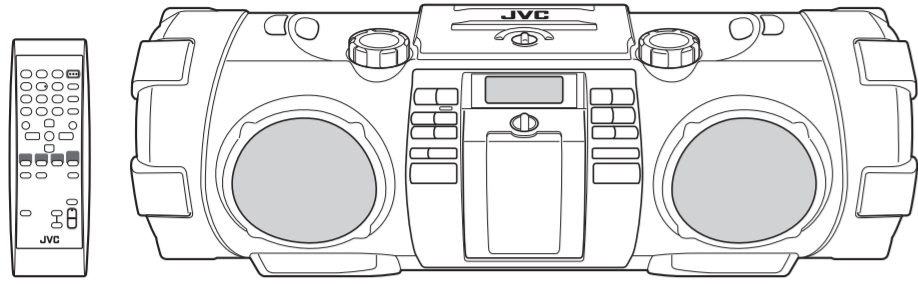
JVC

取扱説明書

パワードウーハー CD システム

型名 RV-NB70-B

MP3/WMA

お買い上げありがとうございます

⚠ご使用の前に
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

※JVCは日本ビクターのグローバルブランドです。

オートパワーセーブ(節電機能)について
以下のような状態で30分間何も操作が行われない場合、本機は自動的に電源が切れます。
- ソース(音源)が「CD」または「USB」で、再生を停止しているとき
- ソース(音源)が「iPod」で、iPodを接続していないとき
- 音量が「MIN」または消音しているとき

本機の電源が切れる前に、「APS」表示が点滅を始めます。
以下の場合はこの機能は働きません。
- ソース(音源)が「AUDIO IN」または「FM」のとき
- マイクまたはギターを接続しているとき

LVT2225-013A
0311TMMMDWBET

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

正面

側面

付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

リモコン RM-SRVNB70 (1個)
単3形乾電池(2本)
AC電源コード(1本)
ショルダーベルト(1本)
ストッパー(2個)

バックル(2個)

- Microsoft, Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- "Made for iPod"、"Made for iPhone"とは、それぞれiPod、iPhone専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリーをiPod、iPhoneで使用すると、無線性能に影響することがありますので、ご注意ください。
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

CD ／ファイル／ USB ／ iPod ／表示窓について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPhoneとiPod touchを含めます。iPhoneとiPod touchを指すときは、「iPhone」「iPod touch」と表記します。
- 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」、「フォルダ」と「グループ」は同じ意味で使っています。

再生できるCDとファイル

CD	下記のマークのあるCDを再生することができます。 COMPACT disc DIGITAL AUDIO / COMPACT disc Recordable / COMPACT disc ReWritable
ファイル	• 音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RW • CD-R/CD-RWまたはUSB機器のMP3/WMAファイル

- CD規格(CD-DA)に準拠しないCDについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するCDであることをお確かめください。
- CDの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CDの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。

CD-R／CD-RWのご注意

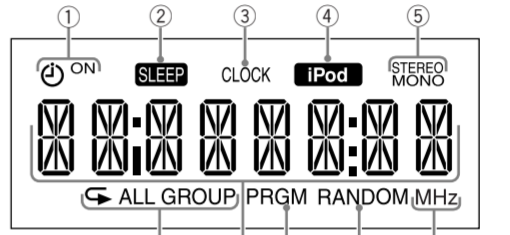
お客様が編集したCD-R/CD-RWは、ファイナライズ処理されているCDに限り本機でお楽しみいただけます。
- CD-R/CD-RWを作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式(UDFフォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用のCDフォーマットまたはMP3/WMAファイル以外で記録したことのあるCD-RWは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMAファイルの入ったCD-R/CD-RWは、通常の音楽CDよりも読み取りに時間がかかります。(フォルダやファイルの構成により読み取り時間は異なります。)

MP3/WMAファイルのご注意

- 再生できるMP3/WMAファイルは「.mp3」または「.wma」の拡張子がついているファイルです。(大文字と小文字が混在した拡張子も可)
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたMP3/WMAファイルを再生できます。
  転送レート　MP3 : 32 kbps～ 320 kbps
  　WMA : 48 kbps～ 192 kbps
  サンプリング周波数　32/44.1/48 kHz
- MP3/WMAファイルの再生順について(MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。)
  - 先に作成したグループから順に再生します。グループ内では先に記録した曲から順に再生します。
  - 記録のしかたによっては、順番が異なることがあります。
  - フォルダ名やファイル名を変えると、順番が変わることがあります。
- 本機はCD1枚あたり、曲とフォルダを合計で511まで認識できます。USB機器では、1台あたり曲を65536曲、フォルダを200個まで認識できます。(1フォルダにつき、最大500曲)。
  これらを越える曲／フォルダは認識できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- 本機ではタグ情報は表示できません。

USB機器のご注意

- 次のようなUSB機器は使用しないでください。
  - 定格が電圧5V、電流500 mAを超えている
- AC電源を使用しているとき、ソース(音源)が「USB」になっているときは、USB機器に電源供給および充電されます。
- 本機の電源が入っているときにUSB機器をはずさないでください。再生中にUSB機器をはずすと本機やUSB機器の故障の原因となります。
- USB機器を接続したりはずしたりするときには、音量を最小にしてください。
- 本機からUSB機器へ録音することはできません。
- USB機器のセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB機器の容量は4GB以下を推奨します。
- すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
- USB機器の再生について
  - 接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
  - 一度に複数のUSB機器を接続しないでください。また、USBハブは使用しないでください。
  - 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
  - 本機はUSB2.0フルスピードに対応しています。
  - USB機器に入っているMP3/WMAファイルを再生できます(最大転送速度は2Mbps)。
  - USB機器が複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - USB機器のなかには、本機で再生できないものがあります。
    また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。

表示窓

① タイマー表示
　• (タイマー)、ON
② SLEEP表示
③ CLOCK表示
④ iPod表示
⑤ FMモード表示 STEREO、MONO
⑥ リピート表示 ALL、GROUP
⑦ メインディスプレイ
⑧ PRGM(プログラム)表示
⑨ RANDOM表示
⑩ MHz表示

iPodについて

- 対応iPod

Made for (対応iPod)	音楽	ビデオ
iPod nano (第6世代)	○	○ *1
iPod nano (第5世代)	○	○
iPod nano (第4世代)	○	○
iPod nano (第3世代)	○	○
iPod nano (第2世代)	○	–
iPod nano	○	–
iPod touch (第4世代)	○	○
iPod touch (第3世代)	○	○
iPod touch (第2世代)	○	○
iPod touch	○	○
iPod classic	○	○
iPod video (第5世代)	○	○
iPod photo (第4世代)	○	○ *1, *2
iPod (第4世代)	○	–
iPod mini (第2世代)	○	–
iPod mini	○	–
iPhone 4	○	○
iPhone 3GS	○	○
iPhone 3G	○	○

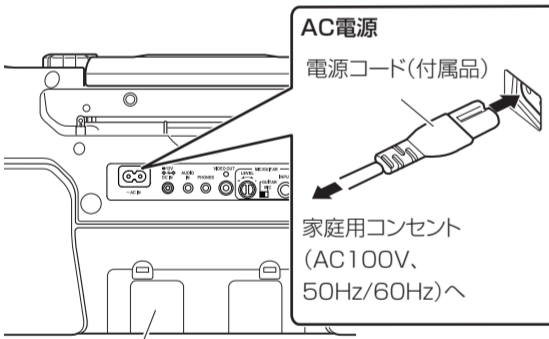
*1 静止画のみ
*2 iPodの表示窓でのみ視聴可能

- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。
- iPodが正しく再生しないときは、iPodの最新版ソフトウェアをダウンロードし、アップデートしてください。
  iPodについて詳しくは、アップル社のウェブサイトをご覧ください。<http://www.apple.com/jp/>
- iPodの最新の対応状況については、弊社ホームページをご覧ください。
- この製品の使用によって生じたiPodのデータ損失や損傷については責任を負いません。

はじめに

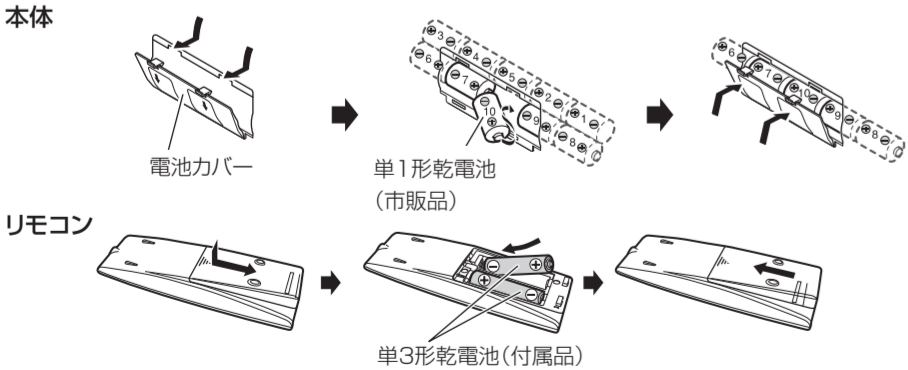
電源コードをつなぐ

AC電源
電源コード(付属品)
家庭用コンセント(AC100V、50Hz/60Hz)へ
電池カバー

乾電池を使用しているときは、AC電源コードを抜いてください。

お知らせ
- 乾電池から電源を供給することもできます。(下記)
- ⏻/I ボタンを押して本機の電源を切った場合(スタンバイ)、スタンバイランプが赤く点灯します。
- 電源が切れているとき(スタンバイ)にも、少量の電力を消費します。

ご注意
- AC電源を使用するときは、乾電池を取り出してください。
- 出かけるときや長期間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

電池を入れる

電池の+と−の向きを正しく入れてください。

- リモコンを操作しても本機が反応しないときは、新しい電池と交換してください。

お知らせ
- 本機をAC電源につないでいるときは、電池からは電源供給されません。
- 本機を連続して操作したり、寒い場所で操作すると、電池の消耗が早くなります。
- 乾電池で動作しているときは、⏻/I ボタンを押して本機の電源を切っても、表示窓には何も表示されません。また、スタンバイランプも点灯しません。
- 乾電池で動作しているときは、本体のソース(音源)または ⏻/I ボタンを押して電源を入れてください。

ご注意
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。

よりよくお使いいただくために

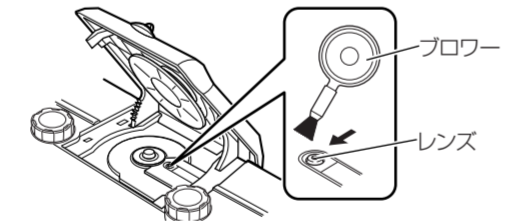
お手入れについて

CDプレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CDドアを開け、図のようにレンズを清掃してください。
- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使って、はき出してください。
- 市販のCDレンズクリーナー(乾式タイプ)をご利用願います。

ブロワー
レンズ

CDの取り扱いとお手入れ

出すとき　入れるとき

- CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CDをお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

○ 必ず内側から外側へ　× 連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障かな?と思ったら

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。
➡電源コードの接続を確認してください。または、本体の電池を新しいものと交換してください。

突然電源が切れてしまう。
➡オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。
➡操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

再生時の音がひずんだり、小さすぎる。
➡本体の電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

リモコンから本体を操作できない。
➡リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。
➡リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聞こえない。
➡音量が最小になっていませんか。
➡ヘッドホンが接続されていませんか。ヘッドホンをはずしてください。

CDプレーヤー/USB機器

再生できない。
➡CDが逆さまに入れられていませんか。ラベル面を上にして入れてください。
➡CDまたはレンズが汚れていませんか。CDまたはレンズを清掃してください。
➡「パケットライト方式(UFDフォーマット)」で録音されたCDは再生できません。再生したいファイルを確認してください。
➡USB機器は正しく接続されていますか。

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。
➡再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。

CDやUSB機器からの音声が途切れる。
➡汚れや傷のあるCDは、清掃するか交換してください。
➡正しく書き込まれたMP3/WMAファイルを再生してください。

USB機器からの音声が遮られる。
➡本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

iPodの操作

表示窓に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。
➡iPodを充電してください。

iPodの映像がテレビに正しく表示されない。
➡iPodの「TV信号」の設定を「NTSC」にしてください。

FMラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。
➡アンテナの向きは適切ですか。アンテナを調節してください。
➡本機の電源を切り、入れ直してください。

タイマーの操作

タイマーが作動しない。
➡電源が入ったままになっていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

上記の処置をしても正しく動作しないときは
本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。

本機を持ち運ぶ

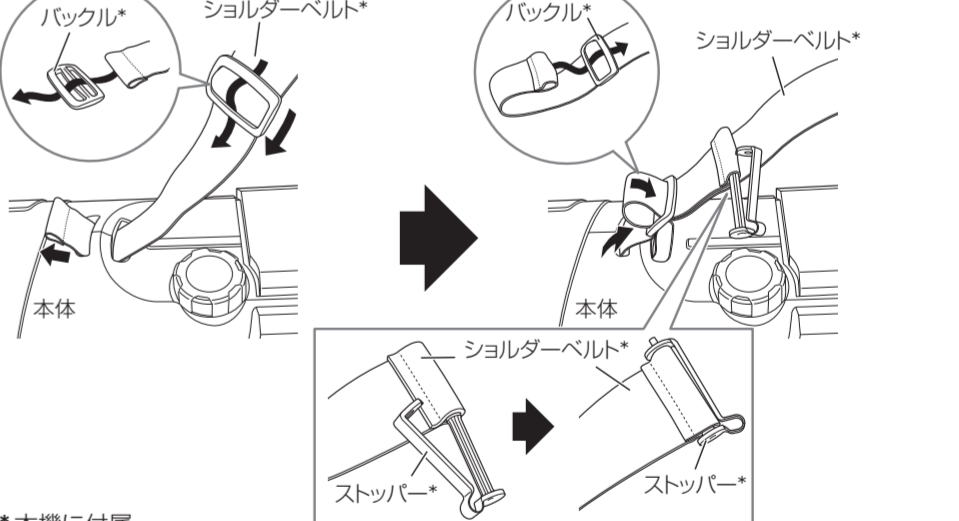
キャリーハンドルを使う

持ち運ぶときは、必ず両方のハンドルを持ってください。
一方のハンドルのみを持って運ぶと、もう一端を引きずるなどして、本機の破損の原因となります。
キャリーハンドルとスピーカーの間に物を入れないでください。

お知らせ
- 持ち運ぶときは、CDを取り出し、USB機器とiPodを取りはずしてください。
- 持ち運ぶときは、すべての接続コードをはずしてください。
- 本機は防水・防塵仕様ではありません。

ショルダーベルトを使う

付属のショルダーベルトを図のように本機に取り付けます。

バックル*　ショルダーベルト*　本体　ストッパー*

* 本機に付属

主な仕様

CDプレーヤー部
対応ファイル形式: 音楽CD、MP3、WMA

チューナー部
受信周波数 FM: 76.0 MHz ～ 90.0 MHz

共通部
スピーカー
- フルレンジ: 8 cm (コーンスピーカー × 2)、16 Ω
- スーパーウーハー: 13 cm (コーンスピーカー × 2)、7 Ω

実用最大出力　20 W + 20 W (JEITA*/AC)

入力端子
- USB MEMORY
  対応ファイル形式: MP3、WMA
  対応機器: USBマスストレージクラス機器
  ファイルシステム　FAT16、FAT32
  出力: DC5 V ⎓ 500 mA
- iPod用ドック　出力: DC5 V ⎓ 1 A
- AUDIO IN: LEVEL 1 500 mV/47 kΩ
  LEVEL 2 250 mV/47 kΩ
  LEVEL 3 125 mV/47 kΩ
- MIC/GUITAR:
  入力インピーダンス/適合インピーダンス
  MIC　600 Ω/200 Ω ～ 2 kΩ
  GUITAR　135 kΩ/100 kΩ ～ 1 MΩ
  定格入力/最大入力
  MIC　3 mV/50 mV
  GUITAR　80 mV/500 mV
- DC IN: DC 12 V、2 A

出力端子: PHONES(ステレオミニ×1)
- ビデオ出力(VIDEO OUT): コンポジット

電源
- AC: AC 100 V、50 Hz/60 Hz
- DC: DC 15 V(単1形乾電池×10使用)
  外部DC12 V電源

消費電力
- AC電源使用時: 電源「入」時　28 W
  電源「切」時　1 W以下
- 外部DC12 V電源使用時: 2 A

最大外形寸法:
幅 666 mm × 高さ 231 mm × 奥行き 240 mm
質量: 約 6.8 kg (電池なし)

電池持続時間

使用電池	CD再生時
単1形アルカリ電池	約9時間(JEITA)

- 周囲の温度や使用状況、電池のメーカーや種類により、上記の電池持続時間と異なることがあります。
- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- *はJEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

A iPod の音楽を聞く、映像を見る

iPodを本機に接続して、本機から操作できます。
• 接続の前に、iPodの種類とソフトウェアのバージョンをご確認ください。(表面のiPod対応表をご覧ください。)
• 接続するときは、かならずiPodの保護カバーをはずしてください。
• 本機からiPodへのデータの転送はできません。

ご注意
• 本機の故障、または不測の事態などにより、再生において利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。大切なデータはパソコンなどにバックアップを取っておくことをお勧めします。
• iPodは、本機にしっかりと接続してください。
• iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損する原因となります。
• コネクターピンに直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
• iPodを使わないときは、本機からiPodを取りはずしてください。
• iPodを再生しているときに本機から取りはずさないでください。iPodや本機の故障の原因となることがあります。
• iPodを接続したり、はずしたりする前に、必ず本機の音量を最小にしてください。音量は再生してから調節してください。

• フロントドアは、開けたままにしないでください。
• フロントドアが開いているときに、フロントドアに下へ押し付けるような力を加えないでください。本機が転倒してけがの原因となります。

iPodを接続する

ドックアダプターを取りはずす

指の爪や先の細いものをスロット部にかけて、ドックアダプターを引き上げてください。

• 爪を傷つけたり、ドックの端子を損傷しないように気をつけてください。

映像出力を設定する

電源が切れていて(スタンバイ)、iPodを接続していないときに…

本体のiPod ►/II を押しつづける

本体

押しつづけるごとに、表示が以下のように変わります。
• VOUT ON:iPodの映像を接続したテレビで見ます。
• VOUT OFF:iPodの映像をiPodで見ます。

再生する

1 iPod ►/II を押す

iPodの電源が入り、再生が始まります。
• 他のソース(音源)を選んでいたときは、もう一度iPod ►/II を押すと、再生が始まります。

本体　リモコン

2 音量を調節する

一時停止するには、iPod ►/II を押します。
• もう一度押すと、再生します。

曲を選ぶには、I◄◄ または ►►I を押します。

本体　リモコン

• 次の曲に移動するには、►►I を押します。
• 再生している曲の最初に移動するには、I◄◄ を押します。
続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早送り/早戻しするには、再生中に I◄◄ または ►►I を押しつづけます。

お知らせ
iPodをソース(音源)に選んでいると…
– iPodを接続しているときは、表示窓に「CONNECT」と表示されます。
– iPodを接続していないときは、表示窓に「NOiPod」と表示されます。
– iPhoneまたはiPod touchをお使いの場合、次の操作はiPhoneまたはiPod touchで行ないます。
• ホームボタンを押す。
• ホーム画面でアプリケーションアイコンを選ぶ。
• スライダーをドラッグする。

iPodのメニューを操作する(リモコンのみ)

1 MENUを押して、メニューを表示する

2 GROUP UPまたはGROUP DOWNを押してメニュー項目を選び、SETを押す

前のメニューに戻るには、MENUボタンを押します。

詳しくはiPodの取扱説明書をご覧ください。

iPodをスリープさせる

iPod ►/II を2秒以上押す
• 他のソース(音源)を選んでも、iPodはスリープします。
• 選んでいるソース(音源)によっては、本機の電源を切ってもiPodはスリープになりません。

iPodの充電について

• 本機をAC電源につないでいるとき:
電源が入っている間、iPodは充電されます。
• 本機を電池で使っているとき:
本機の電源が入っていても、iPodは充電されません。

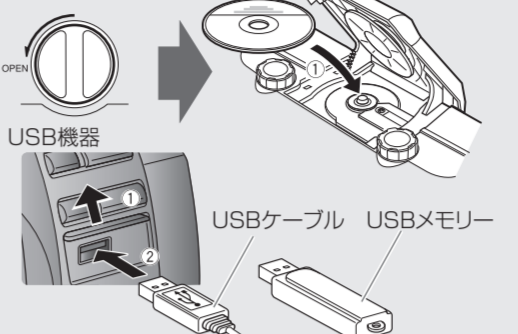
B CD または USB 機器を再生する

CDまたはUSB機器を準備します。

CD

OPEN

USB機器

USBケーブル　USBメモリー

再生中の表示

再生している曲の番号　再生経過時間

10 00:45

再生する

1 CD ►/II またはUSB ►/II を押す

CDまたはUSB機器を読み込み、再生が始まります。

本体　リモコン

CD または USB　または

2 音量を調節する

再生を停止するには、■ を押します。

本体　リモコン

一時停止するには、CD ►/II または USB ►/II を押します。
• もう一度押すと、再生します。

曲を選ぶには、I◄◄ または ►►I を押します。

本体　リモコン

• 次の曲に移動するには、►►I を押します。
• 再生している曲の最初に移動するには、I◄◄ を押します。
続けて2回押すと、前の曲に移動します。

早送り/早戻しするには、再生中に I◄◄ または ►►I を押しつづけます。

グループを選ぶには(MP3/WMAのみ)、リモコンのGROUP UPまたはGROUP DOWNを押します。
• GROUP UP:次のグループを選びます。
• GROUP DOWN:前のグループを選びます。

C FM 放送を聞く

本機はAM放送には対応していません。

1 FMを押して「FM」を選ぶ

本体　リモコン

2 放送局を選ぶ

本体　リモコン

• 2秒以上押しつづけると、本機が自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。

放送局を記憶させる(プリセット)(リモコンのみ)

最大30局までのFM放送局を記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 SETを押す
• 表示が点滅している間に、以下の手順を行なってください。

3 数字ボタンを押して記憶させたい番号を選ぶ

4 SETを押す
放送局が記憶されます。

記憶した放送局を受信するには、数字ボタンを押してプリセット番号を選びます。

記憶した放送局を呼び出す

本体

くり返し押して、プリセット番号を選びます。
• リモコンの数字ボタンを押しても、プリセット番号を選べます。

FMモードを切り替える

FMステレオ放送が聞きにくいときは、モノラル受信(MONO)にすると聞きやすくなります。

本体　リモコン

• ステレオ受信に戻すには、もう一度押してください。

アンテナを調節する

最もよく受信できる位置に、FMアンテナの長さ、角度および方向を調節してください。

最初に電源を入れる

リモコンで番号を選ぶには

例:
• 5番を選ぶには、5を押す。
• 15番を選ぶには、+10を押して5を押す。
• 20番を選ぶには、+10を押して10を押す。
• 125番を選ぶには、+100、+10、+10を押して5を押す。

極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

背面

タイマーを使う(リモコンのみ)

時計を合わせる

お買い上げ後、はじめて本機にAC電源を接続すると、CLOCK表示灯と「0:00」が点滅します。ご使用の前に、時計を設定してください。

1 CLOCK/TIMERを押す

2 I◄◄/◄◄ または ►►/►►I を押して「時」を合わせる
• 押しつづけると、連続して変わります。

3 SETを押す
「分」表示が点滅します。

4 手順2と3をくり返して「分」を合わせる
• 「分」を合わせている間に I◄◄/◄◄ または ►►/►►I を押しつづけると、連続して変わります。
• 「分」を合わせている間に「時」の設定に戻るには、CANCELを押します。
時計が設定されました。

時刻を表示するには、DISPLAYを押します。
• 押すごとに時刻表示とソース(音源)の表示が切り換わります。

お知らせ
• AC電源コードを抜くと、約2時間で時計の設定は消去されます。

• 本機を電池で使っているときは、本機の電源が入っているときのみ時計が表示されます。

おやすみタイマーを設定する

SLEEPをくり返し押す

押すごとに時間(単位:分)が次のように切り換わります。
10 ➡ 20 ➡ 30 ➡ 60 ➡ 90 ➡ 120 ➡ OFF ➡ (最初に戻る)

おやすみタイマーが設定されました。

* 30分以上のおやすみタイマーを設定していても、何も操作をしないと30分後に本機の電源が自動的に切れます。

残り時間を確認するには、SLEEPを1回押します。

お休みタイマーを解除するには、「OFF」が表示されるまでSLEEPをくり返し押します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

お知らせ
あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。

1 CLOCK/TIMERを押す

2 I◄◄/◄◄ または ►►/►►I を押して「時」を合わせる
• 押しつづけると、連続して変わります。

3 SETを押す
「分」表示が点滅します。

4 手順2と3をくり返し、「分」、「ソース(音源)」、「音量」の順に合わせる
• 「分」を合わせている間に I◄◄/◄◄ または ►►/►►I を押しつづけると、連続して変わります。

5 ⏻/I を押して電源を切る
• タイマーの開始時刻になると、設定した音量まで徐々に大きくなっていきます。
• デイリータイマーは、本機の電源が切れているとき(スタンバイ状態)のみ作動します。

タイマーを設定中にひとつ前の手順に戻るには、CANCELを押します。

⏲ON が点灯しているとき、タイマーの設定内容を変更するには、CLOCK/TIMERを2回押したあと、手順2から設定し直します。

デイリータイマーを解除するには、CANCELを押します。

• デイリータイマーの設定操作をしているときは、タイマー表示灯(⏲)が点灯します。
• デイリータイマーの作動中は、タイマーオン表示灯(ON)が点滅します。
• デイリータイマーが作動してから1時間なにも操作をしないと、本機の電源が切れます。

D 音の調節

サウンドモード

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選びます。

SOUND MODEをくり返し押す

押すごとにサウンドモードが切り換わります。

本体　リモコン

BEAT: 重低音を強調したいときに選びます。
POP: 軽快な音楽を楽しみたいときに選びます。
CLEAR: 躍動感のある音楽を楽しみたいときに選びます。
FLAT: サウンドモードをキャンセルします。

ヘッドホン(市販品)を使う

ヘッドホンをつなぐ前に、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、必ず音量を最小にしてください。
• ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
• サウンドモードはヘッドホンからの音声にも効果があります。

お知らせ
iPodをソース(音源)として選んでいるときは、ヘッドホンから音声は聞こえません。

音量を調節する

調節範囲: MIN, 01〜30, MAX

本体　リモコン

(右側のつまみ)

スーパーウーハー(重低音)の音量を調節する

調節範囲: 1〜6

本体　リモコン

(左側のつまみ)

一時的に消音する(リモコンのみ)

MUTINGを押す
• もう一度押すか、音量を調節すると元の音量に戻ります。

便利な再生機能(リモコンのみ)

プログラム再生

CDまたはUSB機器の聞きたい曲を30曲まで登録して、お好みの順で再生します。

お知らせ
• プログラムの登録は、再生が停止しているときのみ操作できます。
• プログラムを登録するときは、グループ番号で曲を探すことはできません。

あらかじめCDをセットするか、USB機器を接続してください。
「B CDまたはUSB機器を再生する」をご覧ください。

1 CD ►/II または USB ►/II を押す

2 ■を押して再生を停止する

3 PLAY MODEをくり返し押して「PROGRAM」を選ぶ

4 数字ボタンを押して登録したい曲を選ぶ

5 手順4をくり返して、他の曲を登録する
• CANCELを押すと、最後に登録した曲が取り消されます。

6 CD ►/II または USB ►/II を押す
プログラム再生が始まります。

プログラム再生の停止中に…

プログラム内容を確認するには、I◄◄/◄◄ または ►►/►►I をくり返し押します。登録した曲が順に表示されます。
• 数字ボタンを押すと、プログラムの最後に曲を追加することができます。

登録した曲を削除するには、CANCEL をくり返し押します。
• 押すごとにプログラムの最後の曲が削除されます。
• 本機の電源を切ると、プログラム内容は消去されます。

プログラム再生をやめるには、PRGM表示灯が消えるまで、PLAY MODEをくり返し押します。

ランダム再生

CDまたはUSB機器の曲をランダム(無作為)な順序で再生します。

あらかじめCDをセットするか、USB機器を接続してください。
「B CDまたはUSB機器を再生する」をご覧ください。

1 CD ►/II または USB ►/II を押す

2 PLAY MODEをくり返し押して「RANDOM」を選ぶ
ランダム(無作為)な順序で曲が再生されます。
• ランダム再生中は、I◄◄/◄◄で前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生をやめるには、RANDOM表示灯が消えるまで、PLAY MODEをくり返し押します。

リピート再生

CDまたはUSB機器の聞きたい曲をくり返し再生します。

REPEATを押す

押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

CDのとき:
↻ALL ➡ ↻ ➡ 取り消し ➡ (最初に戻る)
• ↻ALL: CDのすべての曲をくり返します。
• プログラム再生中またはランダム再生中は、↻ALLのみ選べます。
• ↻: 現在の曲をくり返します。

MP3/WMAファイルのとき:
↻ALL ➡ ↻GROUP ➡ ↻ ➡ 取り消し ➡ (最初に戻る)
• ↻ALL: CDまたはUSB機器のすべての曲をくり返します。
• プログラム再生中またはランダム再生中は、↻ALLのみ選べます。
• ↻GROUP: グループの曲をくり返します。
• ↻: 現在の曲をくり返します。

リピート再生をやめるには、リピート表示灯が消えるまでREPEATをくり返し押します。

外部機器を接続する

マイクまたはギターをミキシングする

マイクまたはギターを接続して、再生音とマイクまたはギターの音声をミックスできます。

ご注意
MIC/GUITAR INPUT端子にはベースギターは接続しないでください。本体が破損するおそれがあります。

1 マイク/ギターセレクターを設定する

ギター　マイク

2 マイク/ギターレベル調節つまみを左に回し、–に合わせる

3 マイクまたはギターをMIC/GUITAR INPUT端子に接続する

4 ミキシングするソース(音源)を再生する

5 マイクまたはギターの音量を調節する

外部機器の音声を聴く

外部機器の音声を聴く前に、本体としっかりと接続してください。
• お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 本機の音量を最小にする

2 AUDIO IN端子に外部機器を接続する

3 AUDIO INを押して「AUDIO」を選ぶ

4 SETを押しつづけて音声入力レベルを調節する

押しつづけるごとに、音声入力レベルは次のように切り換わります。
LEVEL1 ➡ LEVEL2 ➡ LEVEL3 ➡ (最初に戻る)
• LEVEL1: 通常の音声入力レベル
• LEVEL2: LEVEL1よりも高いレベル
• LEVEL3: LEVEL2よりも高いレベル

5 外部機器の再生を始める

6 本機の音量を調節する
• 本機の音声入力レベルを変えても音がひずんだり、小さすぎたりするときは、外部機器側の出力レベルや音量を調節してください。